

## PORTABLE TELEPHONE SET AND ITS FUNCTION CALLING METHOD

**Publication number:** JP2001339500

**Publication date:** 2001-12-07

**Inventor:** DAIKYO TORU

**Applicant:** NIPPON ELECTRIC CO

**Classification:**

- international: **G06F3/048; G06F3/00; H04M1/00; H04M1/247; H04Q7/38; G06F3/048; G06F3/00; H04M1/00; H04M1/247; H04Q7/38; (IPC1-7): H04M1/247; G06F3/00; H04M1/00; H04Q7/38**

- European:

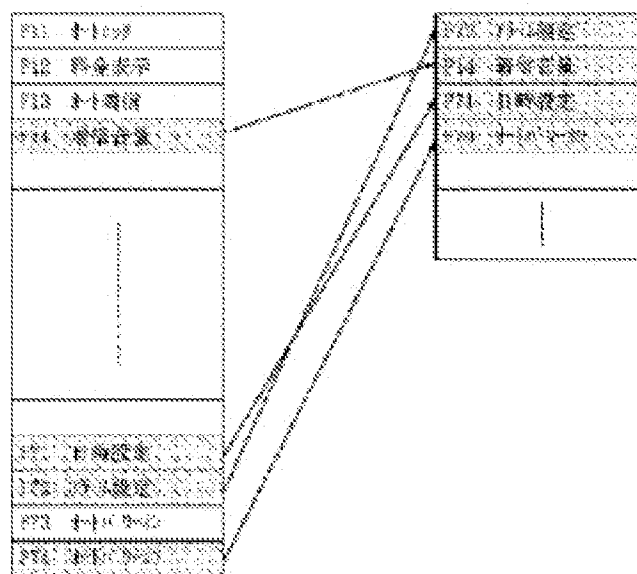
**Application number:** JP20000157132 20000526

**Priority number(s):** JP20000157132 20000526

*Report a data error here*

### Abstract of **JP2001339500**

**PROBLEM TO BE SOLVED:** To solve the problem of the conventional portable telephone set wherein a desired function cannot be reached speedily since the conventional portable telephone set has about more than 50 functions and the desired function needs to be specified by inputting the management number of the function or finding the corresponding function by scrolling a function table. **SOLUTION:** A table of only functions that a user use frequently is generated and scrolled to access the desired function in a short time. The functions which are used frequently can be marked and selectively scrolled. Further, a function table of standard equipment is edited and specified functions are arranged in order from the top, so those functions can speedily be accessed.



Data supplied from the **esp@cenet** database - Worldwide

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号  
特開2001-339500  
(P2001-339500A)

(43) 公開日 平成13年12月7日 (2001.12.7)

(51) Int.Cl. <sup>7</sup>	識別記号	F I	テーマコード* (参考)
H 0 4 M 1/247		H 0 4 M 1/247	5 E 5 0 1
G 0 6 F 3/00	6 5 4	G 0 6 F 3/00	6 5 4 B 5 K 0 2 7
H 0 4 Q 7/38		H 0 4 M 1/00	R 5 K 0 6 7
H 0 4 M 1/00		H 0 4 B 7/26	1 0 9 T

審査請求 有 請求項の数 6 O L (全 4 頁)

(21) 出願番号 特願2000-157132 (P2000-157132)

(22) 出願日 平成12年5月26日 (2000.5.26)

(71) 出願人 000004237

日本電気株式会社  
東京都港区芝五丁目7番1号

(72) 発明者 大饗 徹

東京都港区芝五丁目7番1号 日本電気株式会社内

(74) 代理人 100082935

弁理士 京本 直樹 (外2名)

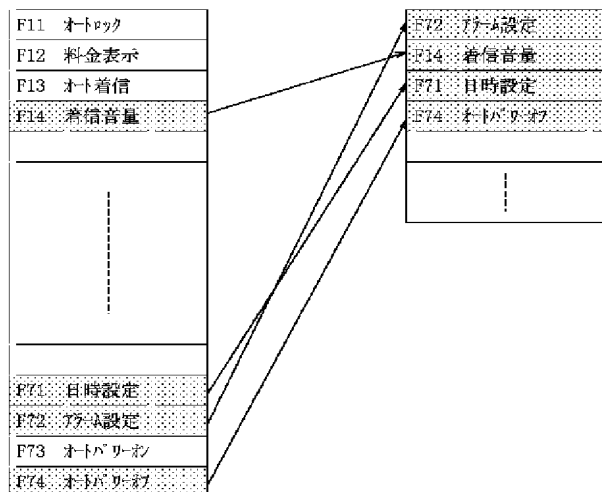
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 携帯電話機とその機能呼び出し方法

(57) 【要約】

【課題】従来の携帯電話機は約50以上の機能を備えている。しかし、所望の機能を指定しようとする、その機能の管理番号を入力するか、または機能テーブルをスクロールさせて該当する機能を見つけなければならならず、速やかに所望の機能に到達できない。

【解決手段】本発明では、ユーザが使用する頻度の高い機能のみのテーブルを作成し、これをスクロールして所望の機能に短時間でアクセスできる。また使用頻度の高い機能にマーク等を付加し、これらを選択的にスクロールすることもできる。または標準装備の機能テーブルを編集し指定した機能に先頭から順に配置させるのでこれら機能へのアクセスが速やかに行える。



# 【特許請求の範囲】

【請求項1】 複数の機能を備える携帯電話機において、指定された機能のみのテーブルを備えることを特徴とする携帯電話機。

【請求項2】 複数の機能を備える携帯電話機において、指定された機能のみを選択的にスクロールする手段を備えることを特徴とする携帯電話機。

【請求項3】 複数の機能を備える携帯電話機の機能呼び出し方法であって、所望の機能テーブルを指定し、該指定された機能をスクロールして呼び出すことを特徴とする携帯電話機の機能呼び出し方法。

【請求項4】 機能の指定、呼び出し、および解除は携帯電話機のキーの操作によって行う請求項3記載の携帯電話機の機能呼び出し方法。

【請求項5】 予め装備された機能テーブルから指定された機能を選択的にスクロールする請求項3記載の携帯電話機の機能呼び出し方法。

【請求項6】 予め装備された機能テーブルから、指定した機能を前記機能テーブルの先頭から順に配置しこれらをスクロールする請求項3記載の携帯電話機の機能呼び出し方法。

# 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は携帯電話機の機能呼び出し方法に関し、特に、使用頻度の高い機能を呼び出す方法に関する。

## 【0002】

【従来の技術】携帯電話機は、一般に、使用者が選択できる機能を約50項目備えている。これらの各機能には通常2桁の管理番号（11～99）が付されている。機能を呼び出す場合、ユーザは図2に示された携帯電話において、数字キー1で直接機能番号を入力するか、または機能キー2を押し（ここで最も若い番号の機能が呼び出される）、上下スクロールキー3によって所望の機能を表示部4に呼び出す。

## 【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかし、希望の機能を呼び出すため、数字キーで直接機能番号を入力する場合には、その番号をユーザが覚えていなければならない。また予め設定されている機能をスクロールさせる場合も、約50項目もの機能から希望の機能を指定するまでに時間を要する。

【0004】携帯電話機は多くの機能を備えているが、ユーザが通常使用する機能は限定されたものである。したがって使用頻度の高い機能は簡単にかつ速やかに呼び出せることが望まれる。本発明は、このようなニーズに応え、必要な機能を速やかに呼び出すことのできる携帯電話機とその機能呼び出し方法を提供することを目的とする。

## 【0005】

【課題を解決するための手段】上記課題を解決する本発明の携帯電話機は、複数の機能を備える携帯電話機であって指定された機能のテーブルを備える。また該携帯電話機は指定された機能のみを選択的にスクロールする手段を備える。本発明の携帯電話機の機能呼び出し方法は、複数の機能から所望の機能テーブルを指定し、該指定された機能をスクロールして呼び出す。機能の指定、呼び出しおよび解除は携帯電話機のキーの操作によって行うことができる。上記スクロールは指定された機能のテーブルに対して行い、または複数の機能から指定された機能を選択的にスクロールする。予め装備した機能テーブルから、指定した機能を前記機能テーブルの先頭から順に配置しこれらをスクロールすることもできる。

【0006】このような携帯電話機では希望する機能を速やかに呼び出すことができる。

## 【0007】

【発明の実施の形態】図1は携帯電話機の機能テーブルと該テーブルから指定された使用頻度の高い機能からなるテーブルを示す。左側のテーブルは携帯電話機が標準装備している機能を表示する標準機能テーブルである。通常機能キー2を押すとこのテーブルの機能が順に呼び出される。また右側は標準機能テーブルから使用頻度の高い機能のみをユーザが指定し、編集したショートカット機能テーブルである。すなわち、この例では特に使用頻度の高い「F72アラーム機能」、「F14着信音量」、「F71日時設定」、「F74オートパワーオフ」の順で指定されている。

【0008】次に、本携帯電話機の動作例について説明する。まず、機能キー2を押し、各機能に割り当てられた2桁の管理番号を数字キー1を用いて入力し、または機能キー2を押して標準機能テーブルの機能を呼び出した後、上下スクロールキー3によって特定することにより所望の機能を呼び出す。図1の例ではF11オートロック機能が標準機能テーブルの最初に表示されている。そこで、スクロールによってF72アラーム設定を呼び出し、または「72」を数字キーで入力することによってF72アラーム設定を指定する。次に、「発信」キーを押すとこのF72アラーム設定がショートカット機能テーブルに登録される。次に、F14着信音量、その他の機能も同様の手順で行われる。

【0009】ショートカット機能テーブルの表示は、機能キーを2度押す（例えば1秒以内に）ことによって行うことができる。すると最初のF72アラーム機能が呼び出され、上下スクロールキー3にて所望の機能を呼び出す。

【0010】ショートカット機能テーブルに登録した機能をこのテーブルから削除する場合、該当する機能を呼び出した後、「切断」キーを押すこと実行できる。

【0011】このように、ショートカット機能テーブルを作成しておくことによって、所望の機能を速やかに指

定できる。

【0012】本発明の携帯電話機では、ショートカット機能テーブルを保持する専用の記憶領域を設定しこれらをスクロールすることができる。また標準機能テーブル中の指定された機能に上述と同様の操作によってマーキングしておき、これらマークの付された機能のみをスクロールするようにしてもよい。このスクロールの実行はソフトウェアの変更により容易に実現できる。

【0013】他の携帯電話機の発明では、標準機能テーブルに表示された機能を並べ替え、使用頻度の高い機能を標準機能テーブルの先頭から順に配置させることもできる。このための操作も、上述と同様に該当する機能を表示させ、「発信」キーの所定の操作によって実現させることができる。これによって、標準機能テーブル中の機能呼び出しとき、指定した機能は常に先頭から順に呼び出されるので、少しのスクロールで所望の機能呼び出せる。

【0014】上述の携帯電話機は従来のハードウェアをそのまま利用でき、ソフトウェアの変更だけで実現できる。ショートカット機能テーブルにない機能呼び出

し、使用したとき、ショートカット機能テーブルへ登録することもできる。また機能を使用したとき、その機能をショートカット機能テーブルの最初に編集替えることもできる。

【0015】

【発明の効果】本発明の携帯電話機では、ユーザの使用頻度の高い機能のテーブルを保持し、これら昨日にマーキングし、該テーブルまたはマーキングした機能をスクロールして、ユーザが速やかに所望の機能呼び出すことができる。

【図面の簡単な説明】

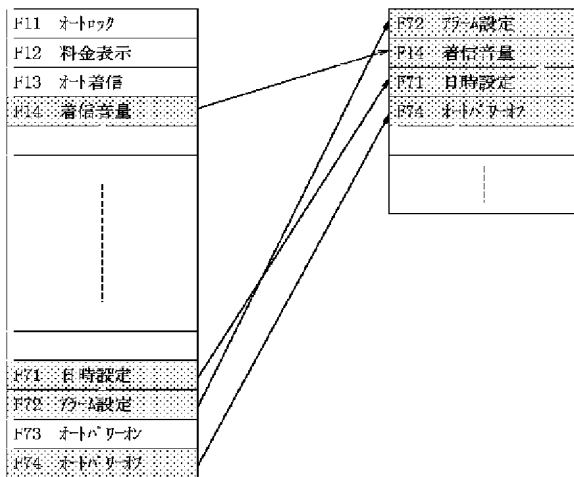
【図1】本発明の携帯電話機の機能テーブルの例を示す図。

【図2】携帯電話機の平面図。

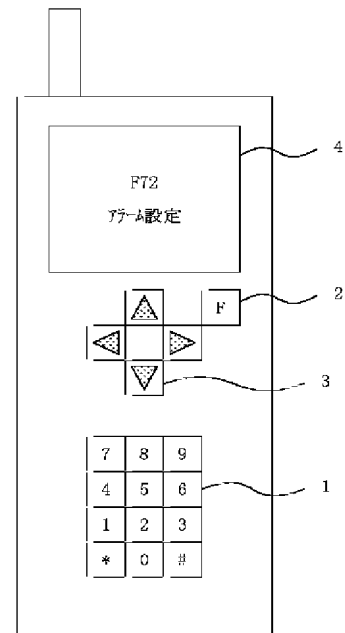
【符号の説明】

- 1 数字キー
- 2 機能キー
- 3 上下スクロールキー
- 4 表示部

【図1】



【図2】



フロントページの続き

F ターム(参考) 5E501 AB03 AC33 BA05 CB03 DA11  
DA15 EB05 FA08 FA23 FB23  
FB32  
5K027 AA11 BB02 FF01 FF22 HH00  
MM04  
5K067 AA34 BB04 FF23 FF31 HH23  
KK15